

# 保健室だより

平成 24 年 9 月発行  
大正大学 保健室

今月は、『結核』について特集します。

厚生労働省では、毎年 9 月 24 日～30 日を「結核予防週間」と定めて、結核に関する正しい知識の普及啓発を図ることとしています。この機会に結核に対する関心を持ち、正しい知識を身につけましょう。

## 結核とはどんな病気？

### ◆ 結核は現代の病気です。

過去の病気ではありません。今でも 1 日に 64 人の新しい患者さんが発生し、6 人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。

### ◆ 風邪のようで風邪ではない、人から人へうつる「感染症」です。

結核の初期症状は風邪とよく似ていますが、次のような症状があるときは結核を疑い、早めに医療機関を受診しましょう。

- ☑ 咳が2週間以上続く
- ☑ 痰がでる
- ☑ からだがだるい
- ☑ 微熱が続く
- ☑ 体重が減る

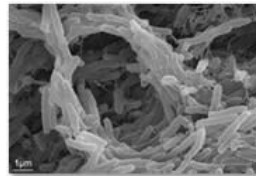


それって  
結核かも…

## 結核はどう感染するの？

### ◆ 何より怖いのは、気づかずに周りの人々にうつしてしまうことです。

結核は、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核の患者さんが咳やくしゃみをしたときに結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことで感染します。感染しても、通常は免疫機能が働いて結核菌の増殖を抑えるので発病しませんが、免疫力が弱まると発病することがあります。



結核菌の電子顕微鏡写真

## 2週間以上、咳が続くときは検査や診察を受けましょう！

### ◆ 結核を検査するには次の3つがあります。

- ① 結核の感染を調べる検査：ツベルクリン反応検査、QFT 検査
- ② 結核の発症を調べる検査：胸部X線検査
- ③ 結核菌の質を調べる検査：喀痰検査

## もし結核に感染したら

### ◆ 薬をきちんと飲めば治ります。

他人に感染する恐れがなければ外来通院となりますが、他人に感染させる恐れがある場合は入院治療となります。結核と診断されても、3～4種類の薬を6ヶ月間毎日服用すれば治ります。しかし、薬をきちんと飲まないとなりが遅くなったり、結核菌が薬に耐性を持つようになり薬が効かなくなることがあります。薬をきちんと服用することが大切です。

## 結核の予防対策は

### ◆ 結核を正しく理解することが、予防への第一歩に繋がります。

- 規則正しい生活を送りましょう。
- 睡眠・栄養を十分にとり、疲れをためないようにしましょう。
- 風邪のような症状が長く続く時は、早めに受診しましょう。
- 胸部のレントゲン検査など、年に1回は健康診断を受けましょう。

## 世界で猛威をふるう結核。もっと結核を知ろう！

### ◆ アジア・アフリカで多く発生しています。

世界では、総人口の約3分の1が結核に感染しており、毎年880万人が新たに発病し、140万人が命を落としています。また、HIV感染者の増加が結核の蔓延を加速させるなど、深刻な問題となっています。

### ◆ 日本の結核、6つの「問題点」。

現在でも日本は世界の中で「**中・蔓延国**」で、問題はより複雑になっています。

- ① 若者の結核も要注意。若い世代の集団感染が問題になっている。
- ② 働き盛りの人の発見が遅れは、次世代に結核を残すことになる。
- ③ 外国人の割合が拡大している。結核対策が十分に行われていない、開発途上国から入国する若者の結核が増えている。
- ④ 感染者がますます高齢化している。
- ⑤ 地域格差がある。大都市郡に多く集中する傾向があり、国内の地域格差が大きい。
- ⑥ HIV感染者やAIDS発症者に結核菌が感染すると、(結核の進行が早くなり)命とりになる恐れがある。

### ◆ 一人ひとりの意識と行動が結核を抑制します。

結核を撲滅するためには、一人ひとりが結核についての正しい知識を持つことが重要です。詳しくは「結核予防会」HPをご覧ください。

出典：厚生労働省 HP/公益財団法人結核予防会 HP「結核の常識 2012」より